

2024年9月吉日

関係各位

一般社団法人 電子情報技術産業協会  
電子部品部会技術・戦略委員会  
全固体電池に関する調査TF

## 全固体電池に関するセミナー2024 開催のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、弊会諸事業に関し、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

全固体電池に関する調査TFでは、当TFの活動を周知し今後の活動に繋げることを目的として、対面形式にてセミナーを開催いたします。

つきましては、セミナーを下記の通り開催いたしますので、万障お繰り合わせの上、ご参加いただけますようお願い申し上げます。

敬具

記

■日時： 2024年12月2日(月) 14時30分～17時00分

■場所： (一社) 電子情報技術産業協会 401、402会議室 (会議室開催のみ)  
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3 大手センタービル4F  
案内図：<https://www.jeita.or.jp/japanese/about/location/index.html>  
入館用QRコードは、ご参加者の方へ別途ご連絡させていただきます。

### ■プログラム(予定)

時間	プログラム	講演者
14:30～14:35	開会挨拶	全固体電池に関する調査TF 主査 金村 聖志 東京都立大学
14:35～14:50	経済産業省挨拶	商務情報政策局電池産業課
14:50～15:50	フラックス法プロセスインフォマティクスを活用した全固体電池用材料開発	信州大学 先鋭材料研究所 研究所長、工学部 物質化学科 卓越教授 手嶋 勝弥氏
15:50～16:50	今後期待できる全固体二次電池の応用領域や期待できる用途関連 (仮)	日経BP社 日経クロステック編集委員 野澤 哲生氏

**※参加費は、無料です。**

### ■講演概要

・ 「フラックス法プロセスインフォマティクスを活用した全固体電池用材料開発」 講師：信州大学 手嶋氏  
最近特にデータ駆動・AIを活用した材料開発に注目が集まっている。我々の研究室では、フラックス法結晶育成技術の中核に、全固体電池用材料を研究開発している。当日は、フラックス法プロセスインフォマティクスを活用した新たな全固体電池用材料創製を詳述する。

・ 「今後期待できる全固体二次電池の応用領域や期待できる用途関連 (仮)」 講師：日経BP社 野澤氏  
全固体電池は、車載用途に脚光が当たっているが、液漏れしない、耐熱性が高い、輸率が高くCレートが高い、製造プロセスの選択肢が広い、といった点を生かした、これまでになかった電池の使い方も出てきている。本講演ではそうした使い方の例にも触れる。

※日経BP社野澤氏の講演に関しては、講師のご都合により資料の配布はいたしません。

■備考:

※ご出席の場合に限り11月22日(金)迄に下記フォームによりご登録をお願い致します。

URL : <https://www.jeita.or.jp/form/custom/362/form>

**※定員は、先着50名までとなります。(定員になり次第受付を終了いたします)**

【事務局・連絡先】 一般社団法人 電子情報技術産業協会 事業推進部 部品・デバイス担当 小山・白川  
e-mail: [electronic\\_components@jeita.or.jp](mailto:electronic_components@jeita.or.jp)

以上